

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院整形外科に、変形性股関節症で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学整形外科学講座では、本学学長の承諾のもとで以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

CT画像における筋領域の自動分離抽出に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学整形外科低侵襲脊椎外科手術研究開発講座助教 西山大介

3. 研究の目的

医療用のCT画像から筋体積を計算する方法は、非常に煩雑で時間と集中力を要する作業のため現在のところ実臨床においては実用されていません。正確な筋体積評価のためCT画像における股関節周囲筋を自動分離抽出する技術を研究・開発することを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

変形性股関節症と診断された患者さんで、2017年5月から9月までの間に当院にて股関節CTを撮影された方。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、CT画像に関する情報です。研究より得られた情報は匿名化し、外部記憶装置に記録し鍵をかけて保存します。論文発表から情報は10年保存されその後、特定の個人を識別することができないよう手順に従って廃棄します。

(3) 方法

自動分離抽出された領域の正確性について手動的に分離抽出された領域と比較し統計学的な解析で検討を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 研究計画書の開示

この説明文書に記載されている研究に関する情報に加えて、あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内でこの研究計画の資料等を閲覧又は入手することができますので、お申し出ください。

8. 資金源及び利益相反等について

本研究は、和歌山県立医科大学若手研究支援助成によって実施します。利益相反関係はなく結果に影響を及ぼすことはありません。

9. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学整形外科学講座 担当医師 西山大介

TEL : 073-441-0645 FAX : 073-448-3008

E-mail : dnishiya@wakayama-med.ac.jp